

《 今日の主なニュース 》

～ 日経ニュースなどを中心に抜粋 ～

◆不動産取得税や固定資産税、課税減免を拡大 インフレ減税39件

・政府は2026年度、国と地方合わせて39の税制措置で課税を減免する基準額を引き上げる。据え置いたままでは物価上昇によって家計や企業の実質的な負担が増えるため。不動産取得税は53年ぶりの改定となる。企業が支出する従業員の食事代の非課税額は倍増し、社員食堂の値下げやメニュー充実などにつながる可能性がある。

◆2月末の外貨準備高、7カ月連続で増加 米長期金利が低下

・財務省が発表した2月末の外貨準備高は1兆4106億ドル(およそ220兆円)だった。1月末とくらべて159億ドル(1.1%)増えた。増加は2025年8月末以降、7カ月連続。米国の長期金利が下がったことで、保有する米国債の時価評価額が上がった。外貨準備高のうち外国債券などの証券は1兆183億ドルと、1月末から99億ドル増えた。

◆診療科名「睡眠障害」看板・広告で標榜可能に、厚労省部会が了承

・厚生労働省の専門部会は医療機関が看板や広告で掲げることができる診療科名に「睡眠障害」を加えることを了承した。追加は2008年以来。内科や精神科といった単独で標榜できる診療科名と組み合わせて「睡眠障害内科」といった形で使えるようになる。政令を改正し、今春にも施行する。

《 業界ニュース 》

～ 日経ニュース・日刊工業新聞・新建ハウジングなどを中心に抜粋 ～

◆供給網全体で省エネ、下請け企業に的 4社以上の共同申請で設備補助

・経済産業省は製造業のサプライチェーン(供給網)全体での省エネルギーを後押しする。大企業の取引先などが4社以上で省エネ計画を共同申請した場合、設備導入費を最大で半額補助する。大企業に比べて遅れている中小企業の温暖化ガスの排出減や環境規制対応の強化につなげる。経産省が3月末にも補助金の公募を始める。

◆OpenAIが「GPT-5.4」提供、Excelと連携 アンソロピック上回る性能

・米オープンAIは新たな人工知能(AI)モデル「GPT-5.4」の提供を始めたと発表。「エクセル」など表計算ソフトの操作やプレゼンテーション資料の作成といった事務作業の性能を高めた。法人向けのAIに強い米新興アンソロピックに対抗する。対話型AI「Chat(チャット)GPT」の有料利用者や企業・開発者向けに提供する。

◆渡辺パイプ、ふるさと納税で大分県に総額1873万円相当を寄附

・住宅・インフラやグリーン事業を手がける渡辺パイプは企業版ふるさと納税制度(地方創生応援税制)を通じて、大分県立農業大学校(大分県豊後大野市)に総額1873万円相当の物納による寄附を行ったと発表。農業用パイプハウス資機材6棟分、環境モニタリング装置2セット、ハウス用遮熱フィルム9棟分を提供し、新規就農者の支援を後押しする。

《 注目商品 》

■パロマ、コンパクトなハイブリッド給湯器 HYBRID PLUS(ハイブリッドプラス)

・オリジナルの「エコロジタンク」を搭載することにより、熱エネルギーの放熱ロスを最小限に。業界初のコンパクトな2ユニット構成により、時短施工を可能に。一体型にしたことで、設置面積約0.45㎡、奥行42cmの省スペース設計を実現。



■アイカ工業、マグネット対応の不燃化粧板

・意匠性・耐久性・施工性に優れたメラミン不燃化粧板にマグネット機能を追加。掲示用マグネット、フック、小棚などのマグネット収納を使用して、デッドスペースとなりがちな壁面をスマートに有効活用できる。住宅や医療・福祉施設などの非住宅にも適用。



■LIXIL、取替窓「リプラス」に寒冷地向け引き違い窓

・既存のアルミ窓をカバー工法で樹脂窓へと容易に交換できるリフォーム窓「リプラス」から、寒冷地に適した「居室仕様 EWタイプ」を追加して発売。引き違い窓のみ(複層ガラス、トリプルガラス)の設定で、間口の縮小や連段窓には非対応。

